

2025年 3月10日

保護者様

豊後大野市小中一貫教育校 緒方学園
緒方小学校 校長 佐藤公彦

グリーンベルトに関する登下校等における運用のお願い

浅春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より教育活動にご理解ご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、緒方の井路は、農業や生活のために先人の知恵と技術でつくられ、今も脈々と流れ続けています。井路沿いの市道は、通学路としての役割、日常生活を営む車の車道としての役割、観光客が散策する遊歩道の役割、農繁期には農耕車が移動するための道路の役割等があります。一方で、市道緒方中央線（原尻～野尻）は井路と並行していることや家屋が建ち並んでいることから、拡幅等の改良が進まない状況があります。児童生徒の安全な通学路の確保だけでなく、沿道住民の皆様の安全確保、高齢者及びハンドル型電動車椅子（セニアカー、シニアカー、電動シニアカート等）の安全確保が課題となっています。

そこで、原尻・上自在・下自在・馬場・井上・野尻の6自治区長連名で、豊後大野市にグリーンベルト設置の事業要望書を提出した結果、2026年度にかけて順次設置される運びとなりました。

グリーンベルトは、歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、ドライバーに路側帯であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるとともに、通行帯を明確にすることで、歩行者との接触事故を防ぐことを目的としています。予定されている市道緒方中央線（原尻～野尻）については道路の南側（井路と反対側、片側のみ）に設置されます。これは井路への転落リスクを減らすことがねらいです。

緒方小学校・緒方中学校では、グリーンベルトの運用にあたり、以下のように指導しています。

<歩く場合>

- 右側通行が原則だが、グリーンベルトがあるところはその上または内側（道路の端）を通ることを基本とする。
- 2人以上が横に並んで歩く並列歩行はしない。
- グリーンベルトに行くために道路を横断する場合は、周囲の確認を十分に行うこと。
- 歩道と同じような歩行者専用の通行帯ではないので、車の動きなどには十分気をつける。
- ハンドル型電動車椅子が通る場合は、周囲に気をつけ止まってよける。

<自転車の場合>

- 自転車は軽車両になるので、グリーンベルトがあっても道路の左側を1列で通行する。
- 自転車を降りて歩く場合は歩行者と同じ扱いになる。2台以上が横に並んで歩く並列歩行はない。

《おうちの方へのお願い》

- ▼グリーンベルトがある道路で井路側を右側通行で歩いても、「違反」ではありません。
今回の設置は井路への転落防止をねらっていることをご理解ください。
- ▼グリーンベルトを設置した箇所は、主に小中学生の通学路となっていますので、通学・帰宅時間帯は特にスピードを落とし歩行者等に配慮して通行するようお願いします。
- ▼ハンドル型電動車椅子は歩行者と同じ扱いになります。グリーンベルトがある道路ではグリーンベルト側を通るようにしてください。

ご理解ご協力の程、よろしくお願ひいたします。